

思えない。絵についても、与えられた対象の形をかなり正確にとり、それに応じた色を塗るロボットは、遠からずには可能であると思う。即ち、初等的な写実画ならロボットにも可能であろうと思う。ところで、写実にしても画家はしばしば同一対象で数枚の絵を描くことがある。同一なものはひとつとしてなく、それぞれが独自の趣を持っている。この同一でないということが重要であって、そこに創造の秘密が潜んでいるのではないか？おそらくロボットが同一条件で同一対象を複数描くとき、それらはほとんど同一なものになるであろう。ロボット・アートという新しいジャンルができることは、否定しないが・・・。

私見では“美を創造する”，例えば“絵を描く仕組み”は最後まで残る謎の1つではないかと思っている。いいかえれば，“数学をする”，“絵を

画く”といった行為は、人間の根源に関わった行為であると思う。たとえ、その成果が大したものでもなかろうと、よい絵でなかろうと，“数学をする”，“絵を画く”ことに費やした時間は、人間らしく生きた時間であり、プラグマティックな意味では役立たなくても、それ自体意義があるものと思っている。私は、これを勝手に“数学或いは美の個人的意義”と呼ぶことにしている。

さて、冒頭で述べたように私は絵をはじめた。個人的意義は十分であったが、社会的意義はまだゼロに等しい。この雑文で書いたことは、“当たり前”か逆に“全くインチキ”として直ちに論破されるようなこじつけが多いと思いますがお許しください。

(かんだ・まもる 数学系教授)



図書館見学承ります！

図書館見学案内事情

筑波大学附属図書館を30分間でPRする。それがどんなに難しいことか、本当に今日は上手くできたということがありません。

「開かれた図書館」「集中管理」「全面開架」「電子図書館」・・・決まり文句と、統計データを駆使しても見学者の心をつかむのは容易なことではないのです。

図書館公関係では主に中央図書館の見学について担当しています。筑波大学附属図書館は開館以来見学者が大変多く、見学にまつわるエピソードなどもたくさんあったようです。

今回はそんなこともまじえながら、中央図書館の見学についてその一端をご紹介します。

<図書館オリエンテーションと館内案内>

図書館見学者は、大きく学内者と学外者に分けられますが、学内者向け見学として図書館オリエンテーションの一環での館内案内があります。

新入生を対象にレファレンス係で開催するフレ

ッシュマンセミナーでは、図書館の利用案内、OPACの操作方法等と併せ、館内ツアーを行ないます。先生から出題された課題の資料を探したり、各カウンターの紹介やコピー機の場合、ちょっとした図書館利用のコツなども入れながらのツアーです。年間10件くらい、500人以上の新入生が参加しています。また毎年4月には理療科教員養成施設の新入生の方々も来られます。目の不自由な方への館内案内なので、専門知識の豊富な附属図書館ボランティアのサポートで実施しています。とにかく新入生の皆さんには、これからの大学生活に欠かせない図書館をよく知ってもらいます。

新入生の皆さんと並んでもう一つのお得意様は留学生の方々です。図書館では年に数回留学生向けの図書館オリエンテーションを開催しています。日本語での案内、英語での案内があり、それぞれに工夫をこらした館内ツアーとOPACの操作方法のガイド補助を行います。外国語が堪能なボランティアの方々が活躍しています。

< 高校生やPTAの施設見学案内 >

筑波大学では、高校生やPTAを対象に大学紹介のための施設見学を積極的に受付けています。大学のホームページにも、見学できる施設として附属図書館を第一に紹介しており、見学先として最も人気の高い施設です。図書館利用者の少ない午前中の時間帯に限ったり、大学の試験期間（その1週間前から）を避けるなど、本来の利用者への配慮からある程度は受入を制限していますが、それでも昨年度は25件、1138名の生徒や保護者の方々が来館されました。20分程の限られた時間ですが、筑波大学附属図書館の特徴をいかにして伝えるか、興味をもっていただくか、魅力的な図書館だということを少しでも感じてもらえるよう努力しています。

図書館の印象が良ければそれは大学のイメージアップにもつながるわけですので、ノーベル賞の白川先生やサッカーの中山選手の話を取り上げたりと、高校生の方々にも身近な切り口で説明しています。新館の雑誌バックナンバーのコーナーで、電動集密書架を動かすと、クールな高校生にもどよめきが起こります。

集会室での大学紹介ビデオの上映や、AC入試の説明会などを同時に開催することもあり、会場の設営や機器の準備など事前に行なう作業も伴います。受付窓口である総務部広報調査課との、部局を超えた連携が必要で、大学広報の一役を担っているということを実感します。

< 外国人来訪者 >

筑波大学には学長への表敬・懇談を目的とした海外からのお客様が多数訪れます。また大学間交流協定校は20カ国79校にも及びますが、それらの協定校からの施設見学などに訪れる外国人学生も多く、これらの外国人来訪者は附属図書館にもよく立ち寄られます。国際交流課が窓口となり日程の調整や通訳の手配などを行ないますが、図書館の見学行程は図書館部で作成します。附属図書館長がお迎えすることも少なくないので、スケジュールの調整や資料の準備にも配慮が必要です。

特に外国人の方は日本の古い資料に興味を示さ

れるので、貴重書展示室や貴重書庫を見学コースのメインにしています。最近図書館長のアイデアで明治時代の教育錦絵のパネルシートを手作りし、お土産として使っていますが、大変好評で日本人の随行者の方々からも反響をいただくほどです。錦絵のお土産は古典資料係が作成しています。

貴重書と並んで見学希望が多いのが電子図書館のデモですが、つい先頃見えたイランイスラム共和国の研究者一行も電子情報係の説明に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。耳を傾けると申しましたが、ほとんどの場合通訳付きです。ただこの時は予定していた通訳者が同行されず、当日いきなりボランティアに応援をお願いしたという顛末がありました。外国人来訪者をお迎えする上で頭が痛いのは言葉の問題以外に、予定時間が遅れるということも覚悟しなければなりません。時にはキャンセルということも・・・。

< その他の見学者 >

とにかく図書館を見たいという方々にはできる限り対応していますので、図書館関係者の視察や研修出張、大学図書館職員長期研修等の専門の方々から、中学生の職場見学にいたるまで様々な見学案内をしています。見学者の興味や専門性によってコースや内容をアレンジし、用語や話し方、歩くスピードに変化を持たせるなどの工夫をしています。

筑波大学附属図書館は、メインカウンターでの簡単な手続きで自由に見学できますが、もし案内付きで回ってみたいというご希望がありましたら、図書館公関係に申し込んでみてください。

附属図書館ボランティアの見学案内活動

筑波大学附属図書館の見学案内をご紹介します。欠かすことのできない存在が附属図書館ボランティアです。一度に大勢の見学者がある場合、図書館のスタッフだけでは手が回らず苦慮することがありました。

しかし、平成7年度から活動を始めたボランティアの方々のご協力で、大口の高校生への対応だけでなく、外国人来訪者や身体の不自由な方にまで、館内案内に豊かさと広がりを持たせることが

できるようになりました。昨年フランス省庁視察団をお迎えした際には、錦絵のお土産をボランティアの方がフランス語で解説して非常に喜ばれました。また今年5月に来館された上海図書館長からは、ボランティアを大変評価したお礼状をいただいています。担当するボランティアの方々の意識は高く、常に勉強し筑波大学附属図書館に好感を持ってもらえるような案内を心がけてくださっています。

「また来てみたい」図書館を

ここ数年の統計では、年間2000人以上の見学者をご案内しています。館内数箇所のポイントで説

明しますが、制限時間内ですべてを言い尽くすのは不可能です。それぞれのポイントでここはまた来てゆっくり見てみたい、という気持ちを抱いていただければ充分かと思えます。ちょっとしたことでも関心を持たれてのご質問や、お帰りの際に「ありがとう」の言葉をいただくことが小さな喜びであり励みにもなります。見学案内は気配りが要求されアクシデントも伴いますが、実に多様で面白い図書館業務だと再認識し、30分間の出会いを大切にしています。

(図書館公関係)



見学案内風景

本学教官寄贈著書紹介

平成14年4月～6月に寄贈を受けた本学教官の著書を紹介いたします。

(敬称略，寄贈者五十音順，所属は平成14年度のものであります。〔 〕内は配架場所と配架番号です。)

青木三郎(文芸・言語学系)

- ・ことばのエクササイズ．ひつじ書房，2002
[中央 801-A53]

浅野勝己(名誉教授)

- ・運動生理学概論 / 菊地和夫 [ほか] 共著．杏林書院，2002 [体芸 491.367-A87]

入江康平(体育科学系)

- ・近代弓道書選集 復刻版 第1巻～第9巻，別冊．本の友社，2002 [体芸 789.5-I64]

上野賢一(名誉教授)

- ・皮膚科学 改訂第7版．金芳堂，2002(Minor textbook) [医学 494.8-U45]

五十殿利治(芸術学系)

- ・越境する想像力 / モダニズム研究会編．人文書院，2002 (モダニズムの越境：1) [体芸 702.06-Mo13-1]
- ・権力 / 記憶 / モダニズム研究会編．人文書院，2002 (モダニズムの越境：2) [体芸 702.06-Mo13-2]
- ・表象からの越境 / モダニズム研究会編．人文書院，2002 (モダニズムの越境：3) [体芸702.06-Mo13-3]